

令和2年5月1日

# 敬愛短大附属幼稚園だより 5月号

世界的な新型コロナウイルスの拡大で、附属幼稚園の母体でもある千葉敬愛短期大学でも4月の教授会で当面の授業開始日を6月1日からと決定致しました。敬愛幼稚園でも5月の行事日程を全て変更いたしました。報道でもありましたように、美浜区の高齢者福祉施設で感染者が出ておりますこと等を踏まえて、5月中の幼稚園は感染リスクが大きいと判断し、休園措置と致しました。尚、預かり保育に関しましては4月と同様に実施致します。

子どもから子どもへの感染の知見はありませんが、大人から子どもへの感染例がありますので、お子さんへの感染防止のためにはどうしても大人の感染防止が重要となります。

今後の検証を待たなければ何とも言えませんが、アメリカの政府系の研究所の新しいデータによれば、今回のウイルスは、飛沫感染に関して、高温・多湿の条件に加え、直射日光に当てる事によって90秒で半減することが分かってきたとの事です。なお、空気中に漂う場合、暗い室内では、新型コロナウイルスの威力が半減するまでには1時間ほどかかるとのことです。（キーワードは直射日光・高温・多湿）

今回のウイルスは、発熱・咳・倦怠感等の自覚症状がなくても既に感染しているというケースも多いため、極力、外部との接触機会を最小限にして、アルコール消毒でなくても、十分な手洗いとうがいを行っていただくことがインフルエンザ等の時と同様に防御の基本とされています。

敬愛幼稚園でも預かり保育の確認に使用するタブレット端末も毎日アルコール消毒を行っています。他県での感染例では、タブレット端末など、不特定多数の人が触れるものについての盲点があったとの事例があります。

今まで誰もが経験した事のない大規模なウイルス感染ですが、一日も早い通常の園生活に戻るよう、みんなで協力して、明るく元気で、心身共に健康な家庭生活を守って頑張りましょう。

## 1 現在の敬愛幼稚園の様子

4月にはそれぞれ進級しているはずの子どもたちですが、預かり保育の子どもたちを見ただけでもその成長ぶりには驚かされます。幼稚園では今、たくさんの花が咲いていて、子どもたちがいたら一緒に見られるのにと先生方も寂しく感じています。そのような中でも、菅藤拓也先生が、子どもたちの砂場の穴掘り用のスコップを立てられる収納ボックスを日曜大工の技術を活かして、天気の良い日に汗だくになりながら製作してくれました。登園したら是非ご覧ください。また、他の先生方も手先の器用さを活かして、子どもたちの登園する日を心待ちにして様々な製作に励んでいます。

また、新たに、教室の外側で、園庭に近い天井部分には見慣れない水道のホースがクネクネと1階年中組のあやめ組さんとゆり組さんの間で1階から2階までと、これとは別に、もう1か所、職員室前から、なかよしルームと給湯室の間までの2か所に設置されています。それぞれの長さは15mから25m近くもあります。さて、これは何でしょうか。確かに水道のホースであることは間違いありません。親子で想像してお楽しみください。正解は園児のみなさんが元気で登園してこられるようになった時に発表しますので楽しみにしてください。

## 2 喜びのお電話で先生方益々元気をいただきました

幼稚園のホームページからYouTube経由で先生方のパフォーマンスを見ていただけましたでしょうか。卒園児のご家庭でもご覧いただいているようで、喜びのお電話をいただきました。先生方もこのことばに励まされて、子どもたちや保護者の皆様になかなかお会いできない日々の寂しさを一時忘れ、何とか家庭で過ごしている子どもたちに幼稚園を感じてもらえるように益々ヒートアップしてきました。そして、次は何が良いかとアイディアを出し合っています。みんなで頑張っこの危機を乗り越え、2020年度をスタートさせられるようお会いできる日を楽しみにしております。

(園長 杉山清志)